



# 2012年3月期 決算の概要

2012年5月16日(水)  
王子製紙株式会社

2011年度 業界需要動向	1
日経代販価格推移	2
主要原燃料価格の推移	3
2011年度 連結業績概要	4
主要製品品種別売上実績	5
連結営業利益増減益内訳(2010年度 対 2011年度)	6
2012年度 連結業績予想	7
連結営業利益増減益内訳(2011年度 対 2012年度予想)	8
連結営業利益推移	9
連結有利子負債残高推移	10
連結設備投資・減価償却費推移	11
経営目標	12
事業構造転換(内なる充実①)	13
事業構造転換(内なる充実②)	14
事業構造転換(外への発展①)	15
事業構造転換(外への発展②)	16
投資戦略	17
持株会社制移行に伴う組織再編図	18

# 2011 年度 業界需要動向



OJI PAPER

(単位:千t)

	国内出荷高		輸入紙(通関) ※1		合計	
	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比
段ボール原紙	8,688	100.5%	108	89.7%	8,795	100.4%
紙器用板紙	1,650	100.8%	219	102.9%	1,869	101.0%
その他の板紙	645	98.2%	26	63.1%	672	96.1%
<b>板紙計</b>	<b>10,983</b>	<b>100.4%</b>	<b>353</b>	<b>94.2%</b>	<b>11,336</b>	<b>100.2%</b>
衛生用紙	1,762	97.2%	102	158.2% ※2	1,864	99.3%
包装用紙	804	96.4%	11	80.1%	815	96.1%
新聞用紙	3,217	98.6%	101	79.8%	3,319	97.9%
印刷・情報用紙	8,213	96.2%	1,805	151.9%	10,018	103.0%
雑種紙他	729	95.4%	20	111.0%	749	95.7%
<b>紙計</b>	<b>14,725</b>	<b>96.8%</b>	<b>2,040</b>	<b>144.5%</b>	<b>16,765</b>	<b>100.9%</b>
<b>板紙・紙計</b>	<b>25,708</b>	<b>98.3%</b>	<b>2,394</b>	<b>133.9%</b>	<b>28,101</b>	<b>100.6%</b>
<b>段ボール加工品 ※3</b>	<b>13,216</b>	<b>100.9%</b>				

(単位:百万㎡)

出典:「日本製紙連合会 紙・板紙需給統計」、「財務省貿易統計」、「全国段ボール工業組合連合会 段ボール生産量」

※ 1: 輸入紙(通関)の実績は2011年4月~2012年3月(速報)の実績

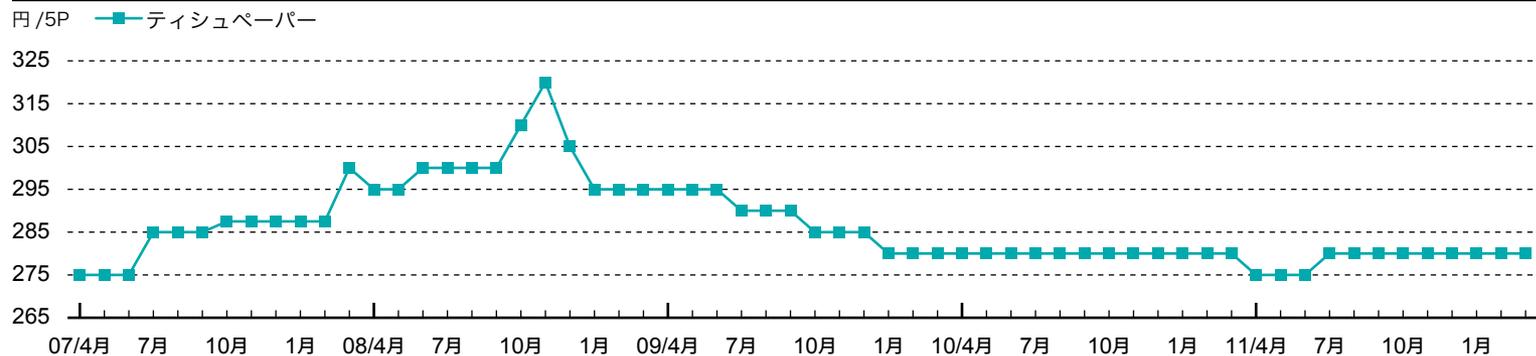
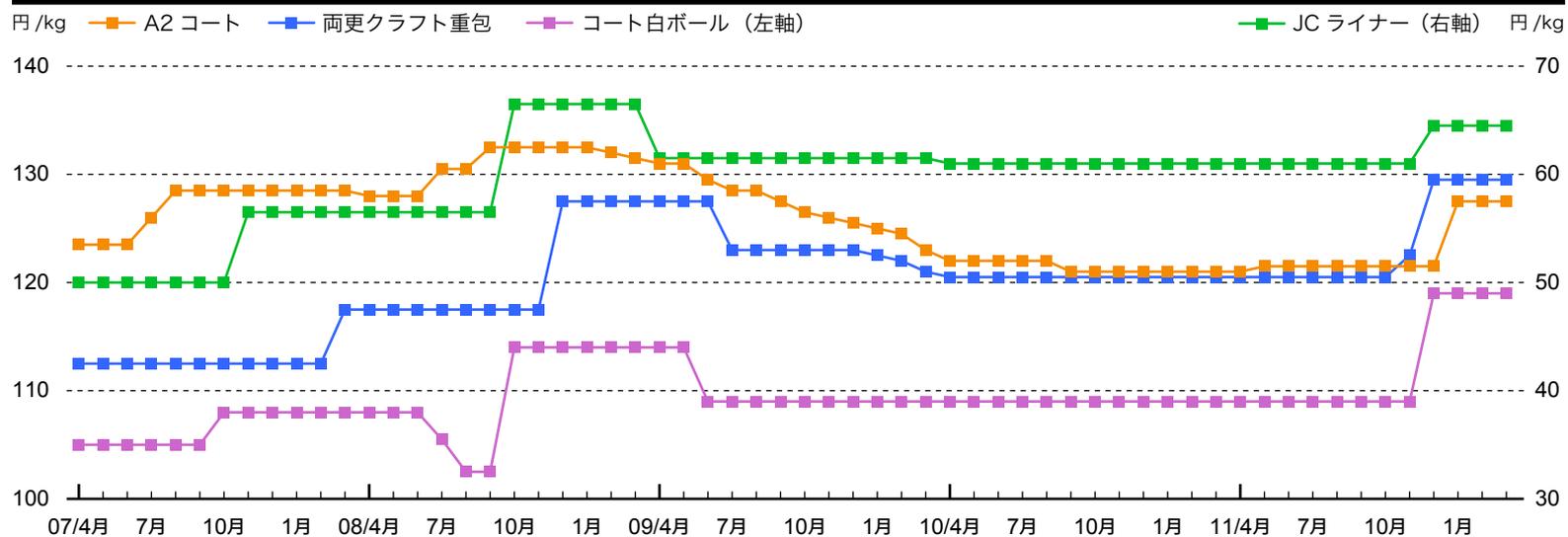
※ 2: 衛生用紙の輸入紙(通関)に二次製品(加工品)を含む

※ 3: 段ボール加工品の数量は生産量(貼合されたシートの総量)

# 日経代販価格推移



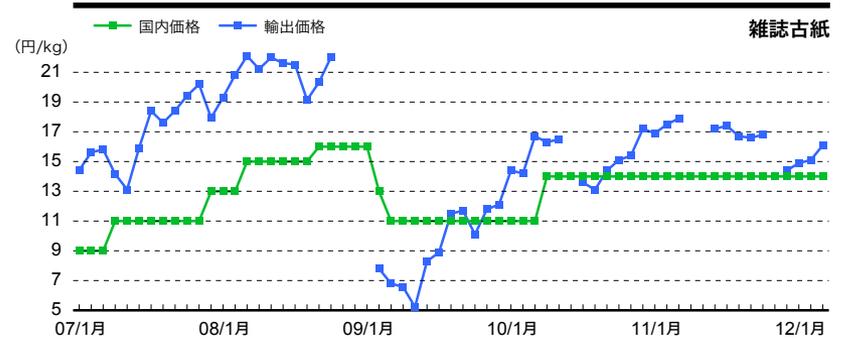
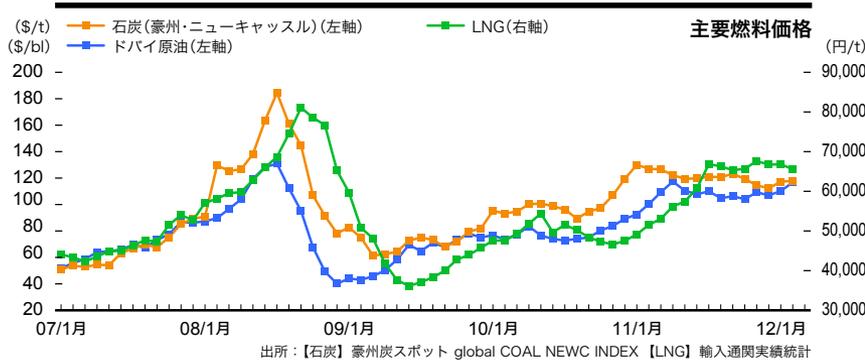
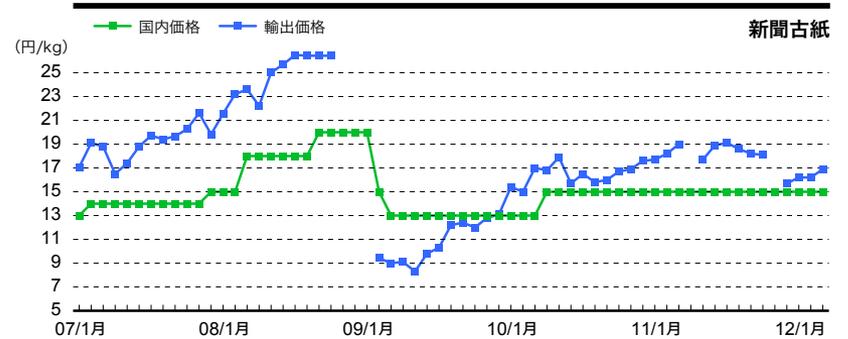
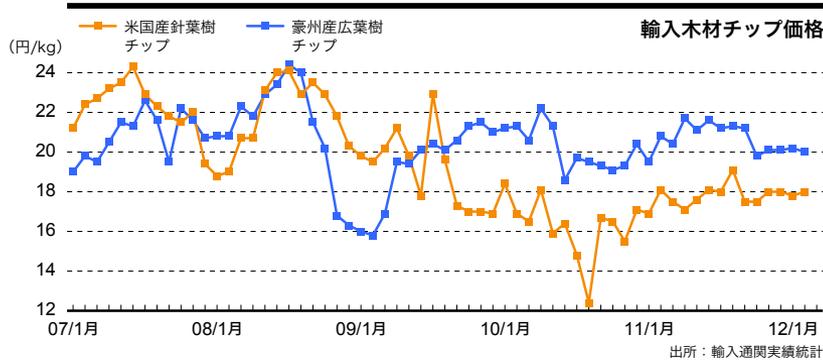
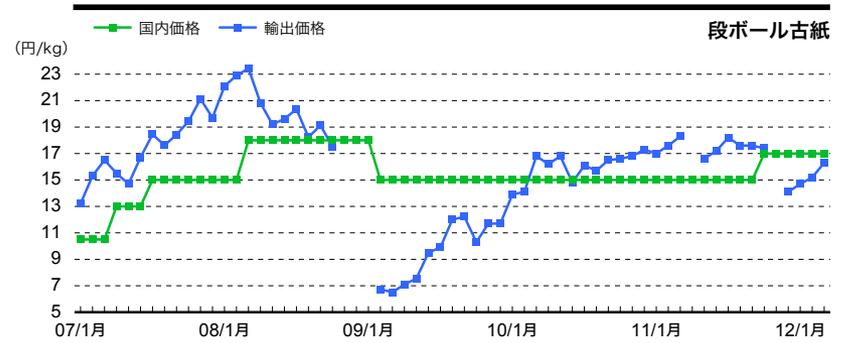
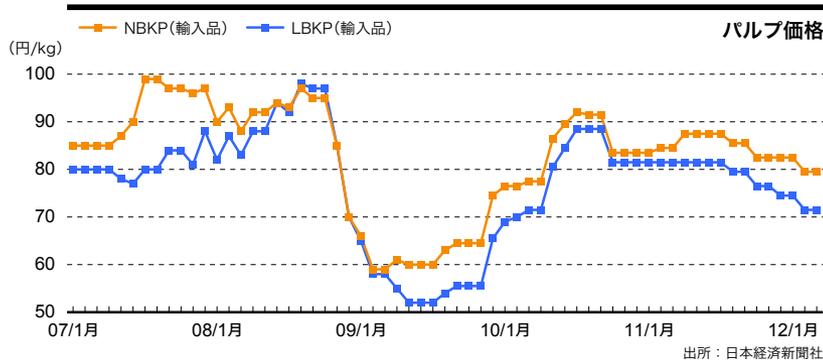
OJI PAPER



# 主要原燃料価格の推移



OJI PAPER



# 2011 年度 連結業績概要



OJI PAPER

(単位: 億円)

	2010年度	2011年度	増減
売上高	11,801	<b>12,129</b>	328
営業利益	654	<b>538</b>	▲ 116
経常利益	602	<b>484</b>	▲ 118
当期純利益	246	<b>222</b>	▲ 24
減価償却費	796	<b>760</b>	▲ 36
為替レート(円/US\$)	85.7	79.1	▲ 6.6
連結範囲	連結子会社 持分法適用関連会社	113社 13社	連結子会社 持分法適用関連会社
			128社 14社
			+ 15社 [増加21社・減少6社] + 1社 [増加1社・減少-社]

## 連結子会社 +15社

- 増加 21社**     **Harta関連 18社** [株式取得(2011年8月) マレーシアにおける段ボールの製造販売]  
**王子パペイス・エスペシアイス** [持分取得(2011年9月) ブラジルにおける感熱紙・ノーカーボン用紙の製造販売]    ほか
- 減少 6社**     **United Kotak関連 4社** [組織再編成(2011年9月) マレーシアにおける段ボールの製造販売]    ほか

## 持分法適用関連会社 +1社

- 増加 1社**     **Harta関連 1社** [株式取得(2011年8月)]

# 主要製品品種別売上実績



OJI PAPER

	2010年度			2011年度			増減			
	販売数量	販売単価	販売金額	販売数量	販売単価	販売金額	販売数量	対前期比	販売単価	販売金額
	千t	円/kg	億円	千t	円/kg	億円	千t	%	円/kg	億円
板紙計	3,059	66.27	2,028	3,075	66.47	2,044	15	0.5%	0.19	16
家庭紙	216	203.62	439	213	209.22	445	▲ 3	▲ 1.4%	5.59	6
包装用紙	288	101.69	293	276	102.73	284	▲ 12	▲ 4.1%	1.04	▲ 9
一般洋紙	3,017	109.80	3,313	2,832	111.41	3,155	▲ 185	▲ 6.1%	1.61	▲ 158
特殊紙他	238	229.97	548	232	220.75	513	▲ 6	▲ 2.6%	▲ 9.22	▲ 36
紙計	3,760	122.18	4,594	3,554	123.74	4,397	▲ 206	▲ 5.5%	1.55	▲ 196
板紙・紙計	6,819	97.10	6,621	6,628	97.17	6,441	▲ 191	▲ 2.8%	0.07	▲ 180

(注) 連結グループ内生産会社の合算値であり、グループ内消費を含む。

段ボール加工品	2,144	2,097	▲ 47
---------	-------	-------	------

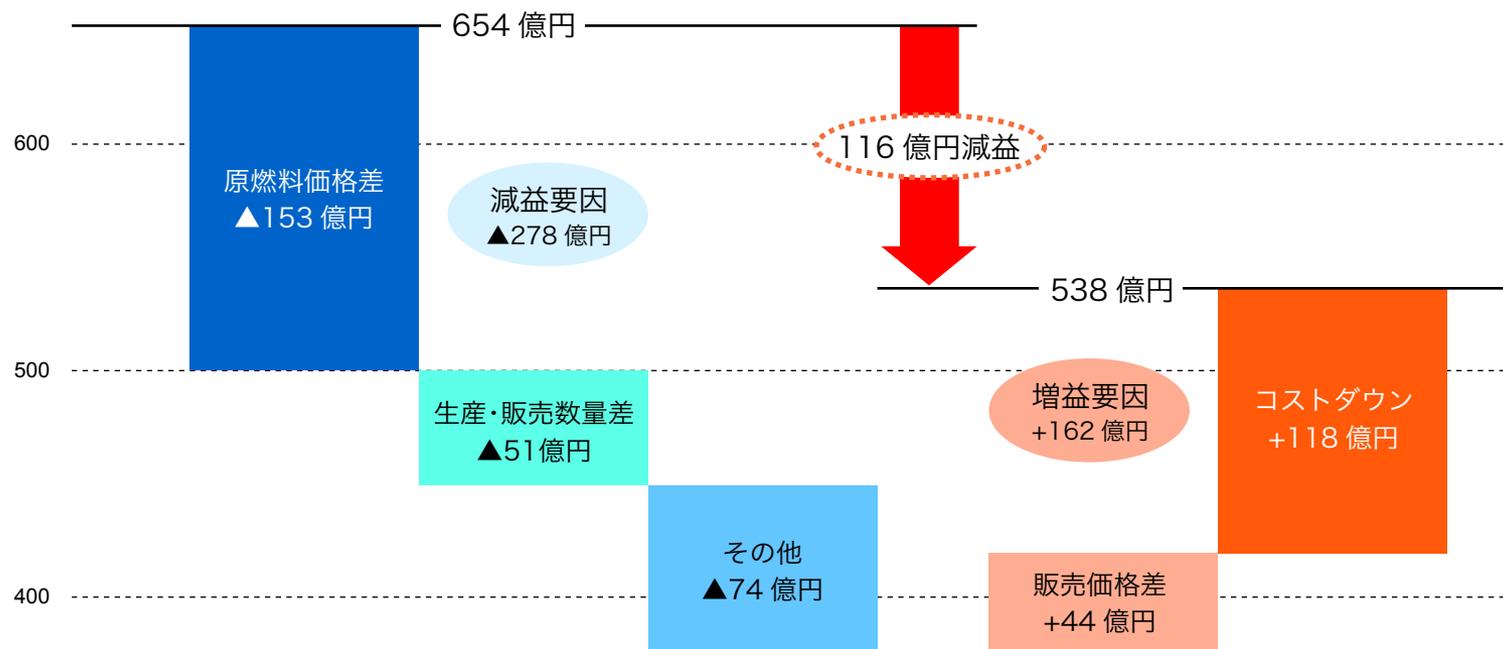
(注) 外部売上高

# 連結営業利益増減益内訳 (2010年度 対 2011年度)



OJI PAPER

2010年度 654億円 → 2011年度 538億円 (▲116億円)



# 2012年度 連結業績予想



OJI PAPER

(単位:億円)

	2011年度	2012年度予想	増減
売上高	12,129	<b>12,700</b>	571
営業利益	538	<b>680</b>	142
経常利益	484	<b>600</b>	116
当期純利益	222	<b>280</b>	58
減価償却費	760	<b>701</b>	▲ 59
為替レート(円/USドル)	79.1	80.0	0.9

## 2012年度予想前提条件

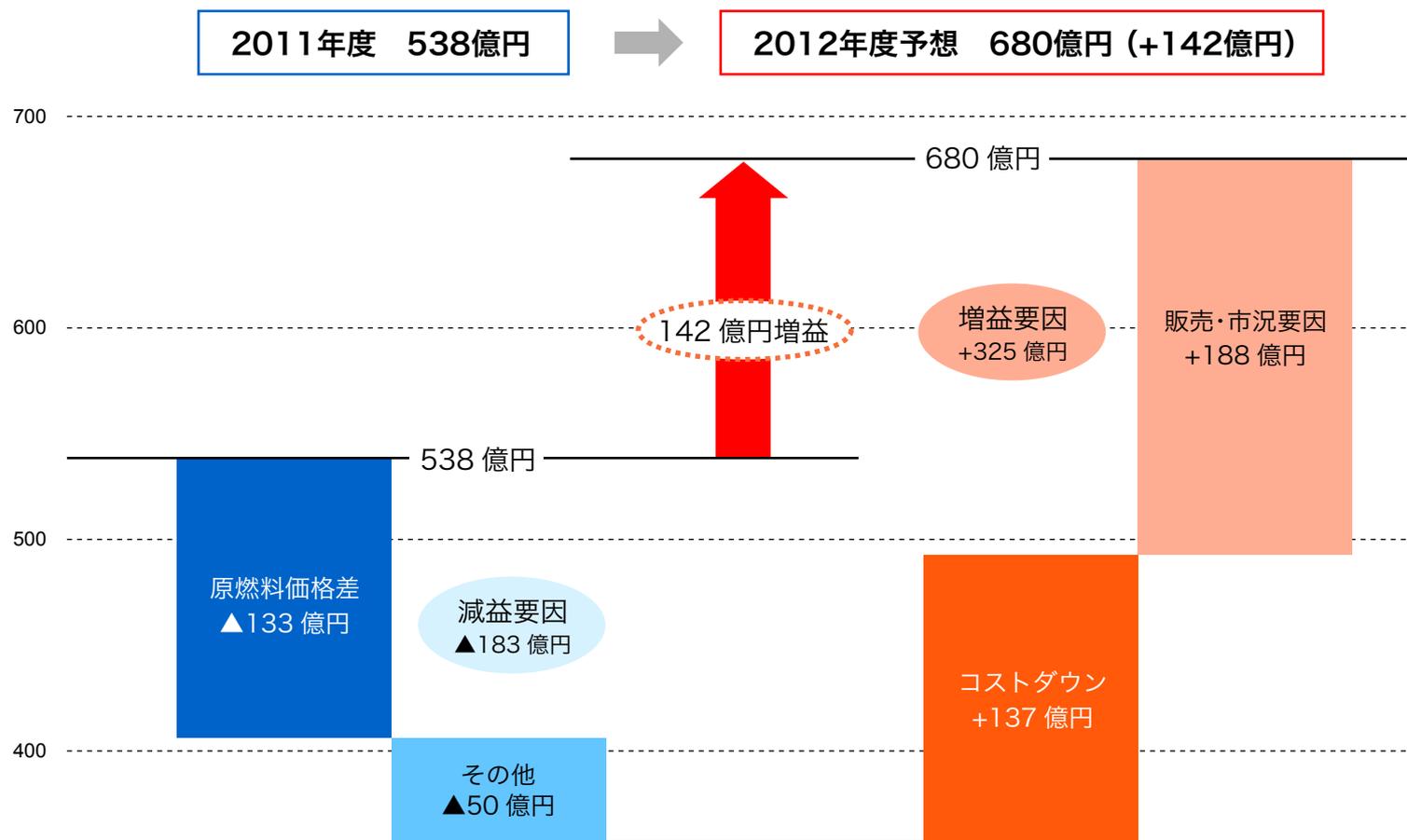
- ・原燃料価格
  - チップ: 現行契約ベース
  - 古紙: 現行価格レベル横這い
  - 石炭: 現行契約ベース
- ・変動影響
  - (年間)
- 為替レート: 1円/US\$変動につき±約5億円
- 古紙価格: 1円/kg変動につき±約42億円

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在における将来の経済環境予想等の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

# 連結営業利益増減益内訳 (2011年度 対 2012年度予想)



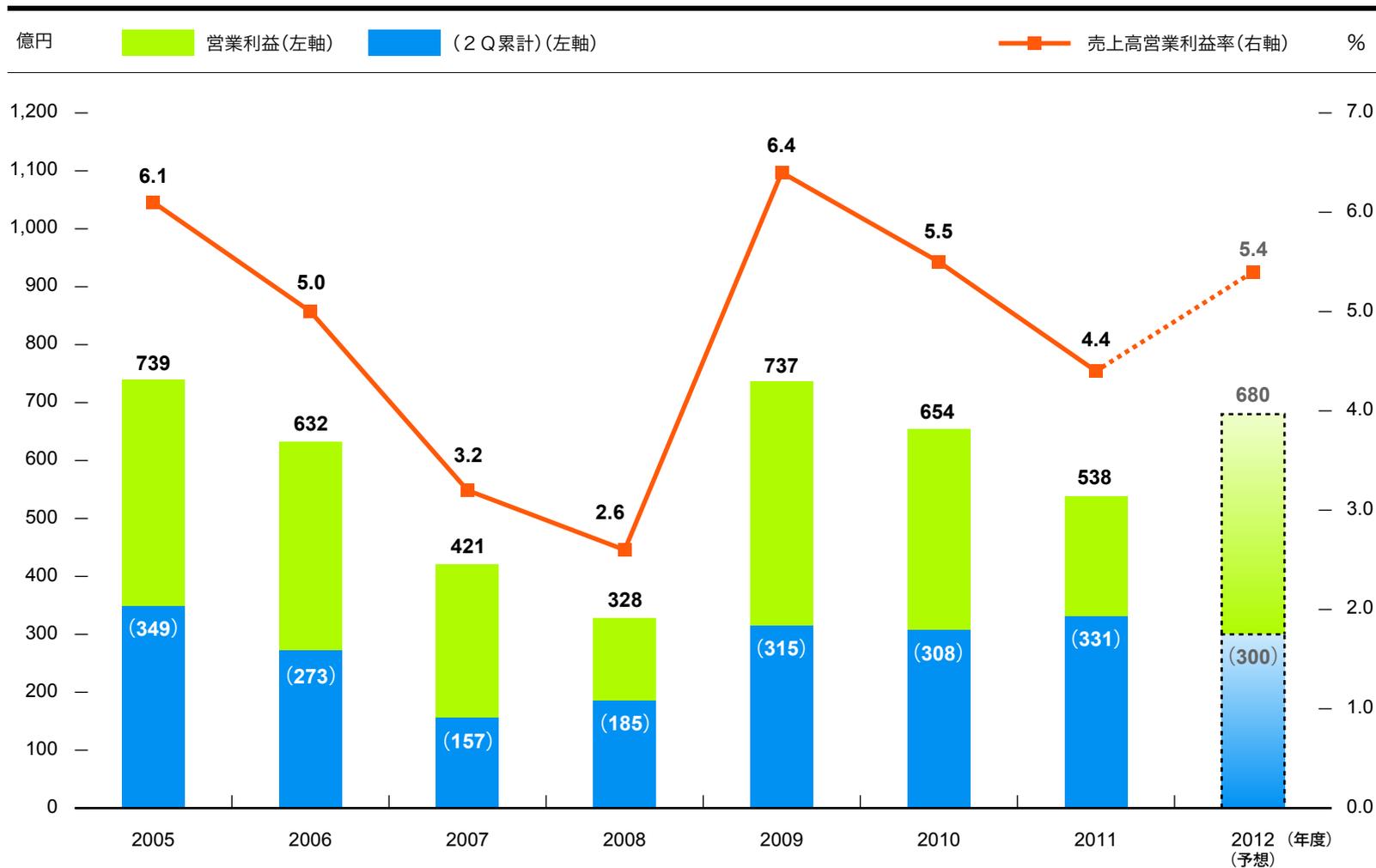
OJI PAPER



# 連結営業利益推移



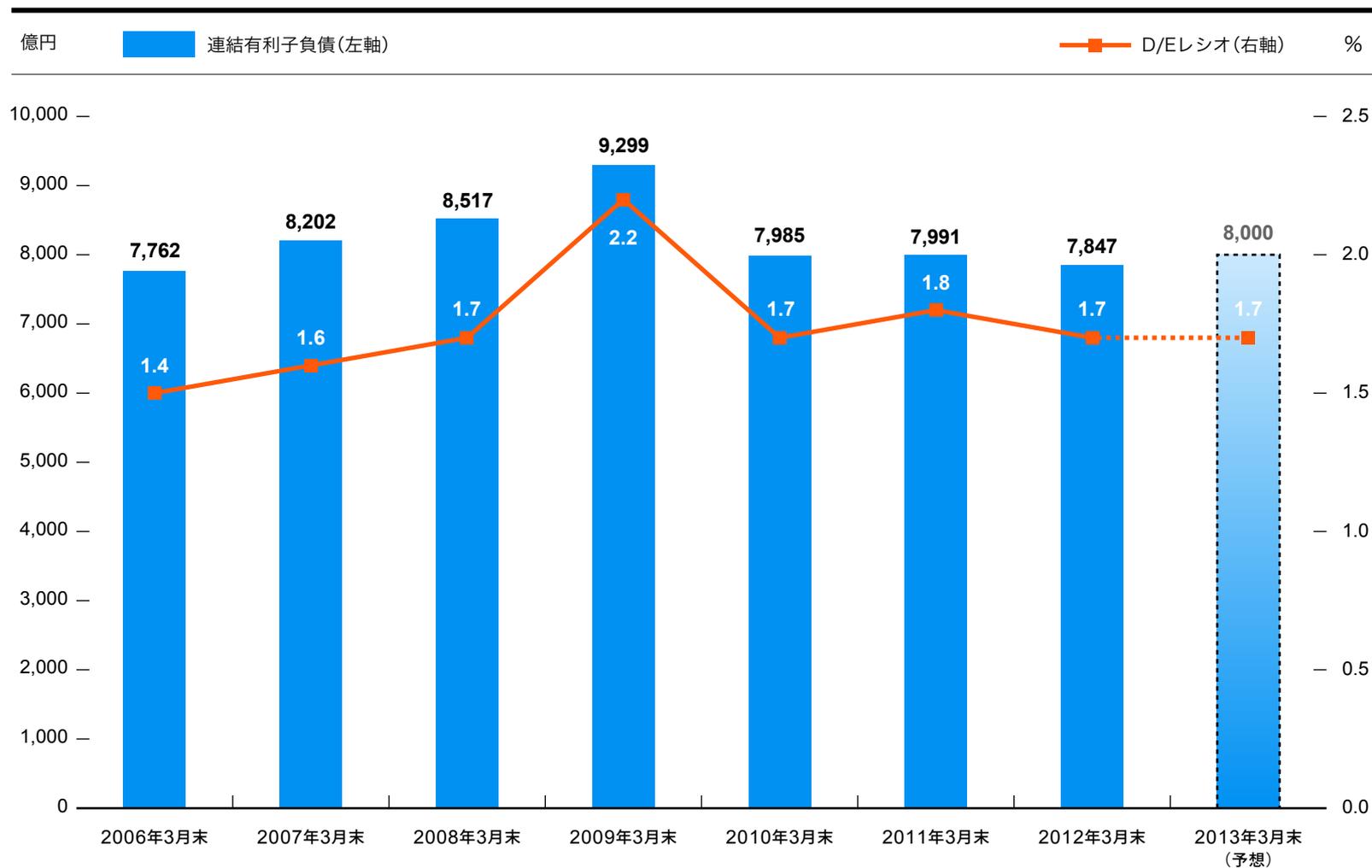
OJI PAPER



# 連結有利子負債残高推移



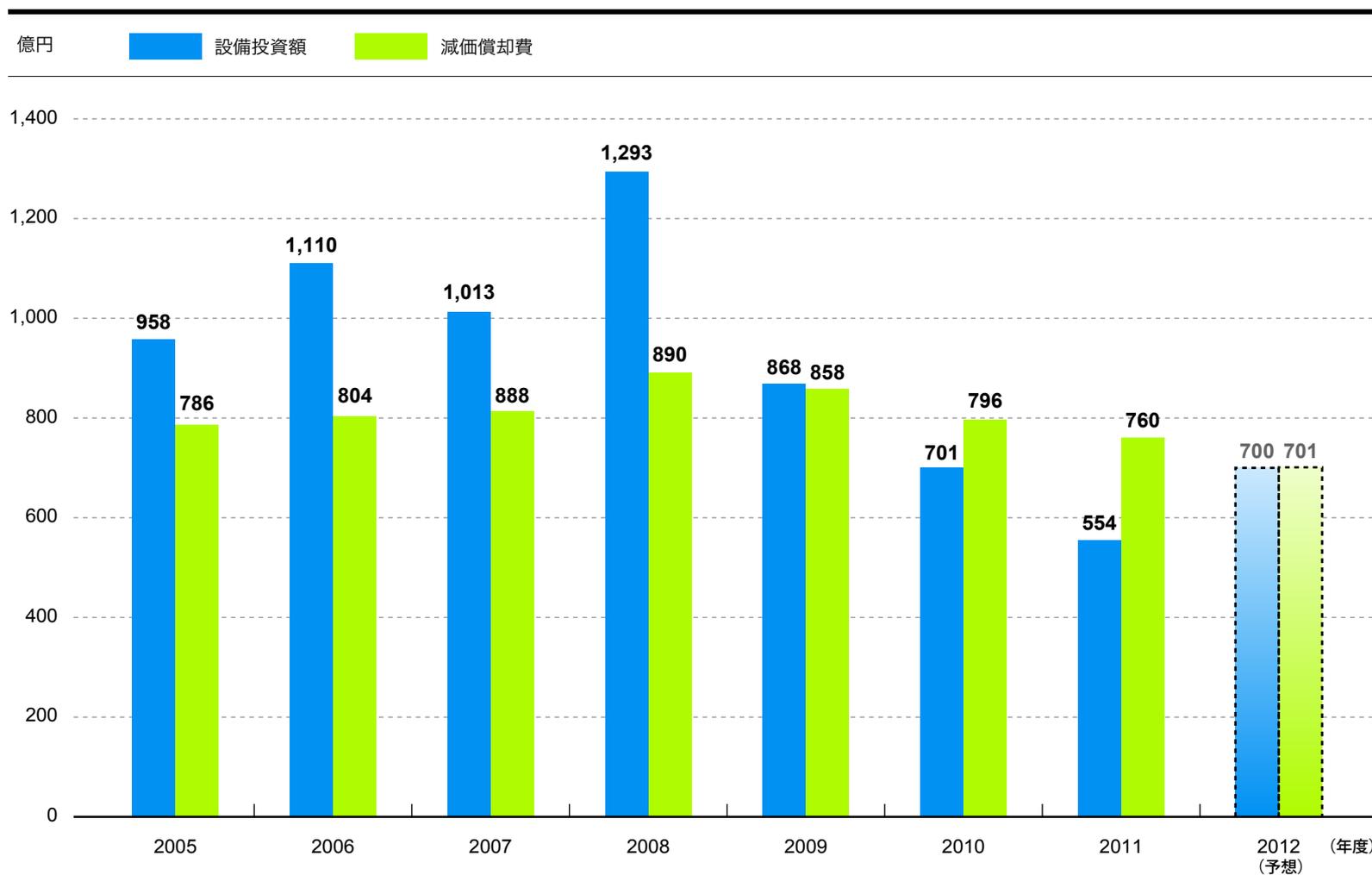
OJI PAPER



# 連結設備投資・減価償却費推移



OJI PAPER

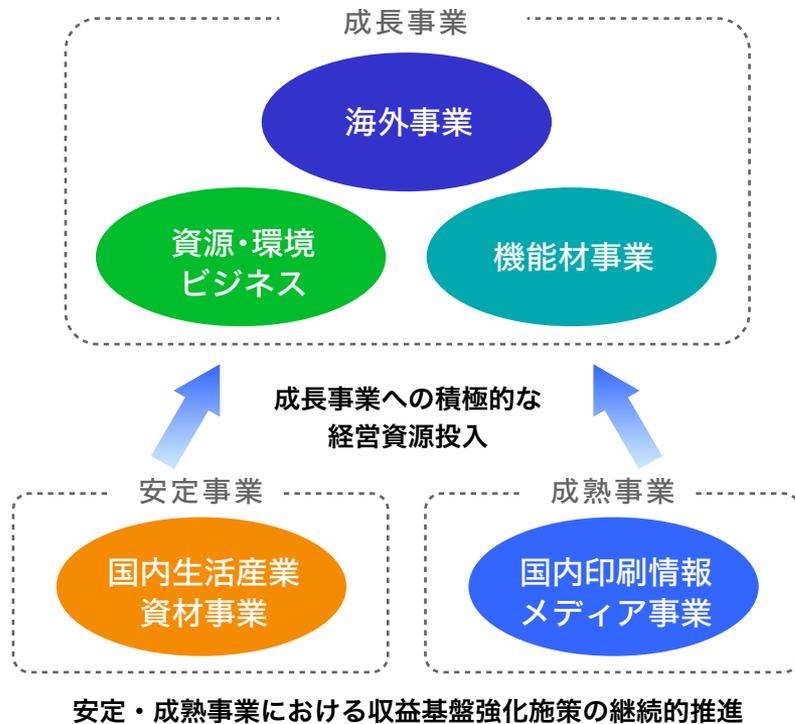


※一部在外子会社の設備投資額については、親会社の決算期ベースに補正

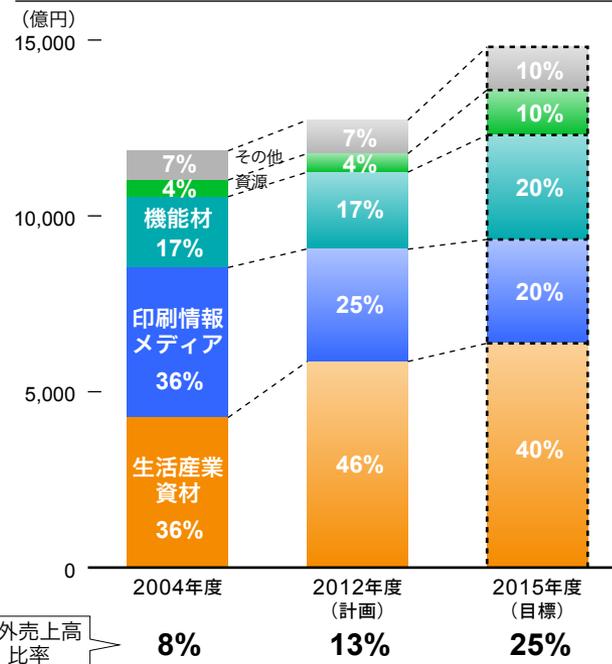
## 経営基本方針

### 変革による事業構造転換の完遂

内なる充実(国内事業基盤強化)／外への発展(海外事業拡大)



### 売上高構成比



### <事業構造転換完遂のための6施策>

- 徹底したコストダウンによる国際競争力強化
- 素材・加工一体型ビジネスの確立
- 研究開発型ビジネスの形成による成長
- 資源・環境ビジネスの推進
- 海外ビジネスの拡大
- 商事機能強化

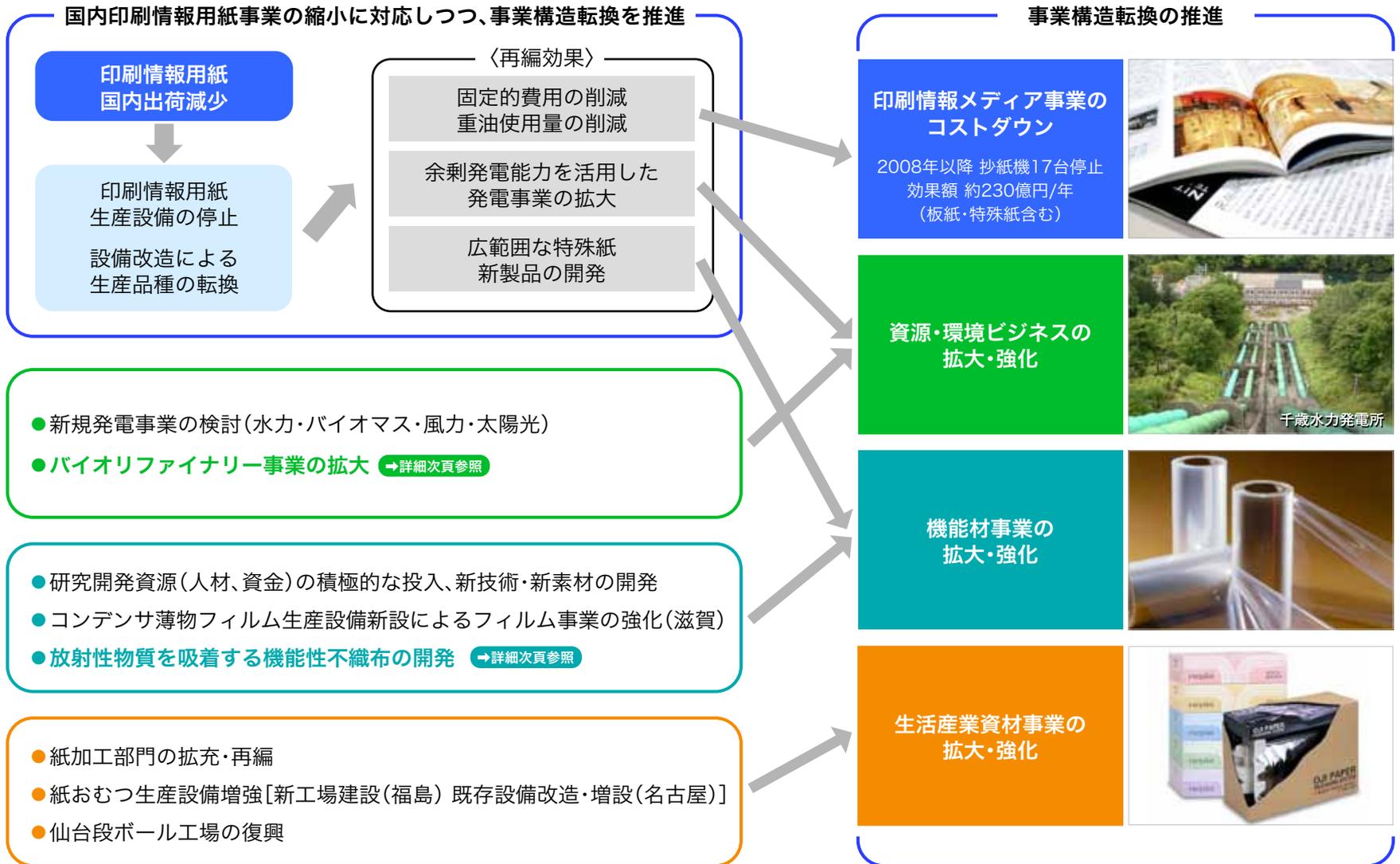
## 収益目標

営業利益 1,000 億円以上 純利益 500 億円以上

# 事業構造転換（内なる充実①）



OJI PAPER



## 〈資源環境ビジネスの強化・拡大〉

### バイオリファイナリー有価物の実証・評価の実施ならびに販売

（経産省「イノベーション拠点立地支援事業『先端技術実証・評価設備整備費等補助金』」対象事業）

米子工場の既存パルプ設備を改造、資源環境ビジネスの一層の拡大を図る

#### バイオリファイナリー有価物



#### フルフルール

石油精製の溶剤などに使用  
今後、バイオマス由来の化成品原料、  
次世代バイオプラスチック原料として期待



キシロオリゴ糖  
キシロース  
エタノール

#### 溶解パルプ（9万t/年 14年1月生産開始）

特殊用途分野（化学・医療等）を中心とした、高付加価値品の市場参入を目指す  
一般レーヨン用途は早期に製品化し販売

## 〈機能材事業の強化・拡大〉

### 放射性セシウムを吸着するゼオライト不織布の開発・商品化

王子グループの独自技術「TDSプロセス」(Totally Dry System)を用いた、ゼオライト不織布の開発・商品化

#### 【TDSプロセスの特徴】

水を一切使用せず、高米坪（～3,500g/m<sup>2</sup>）・低密度の不織布を製造可能

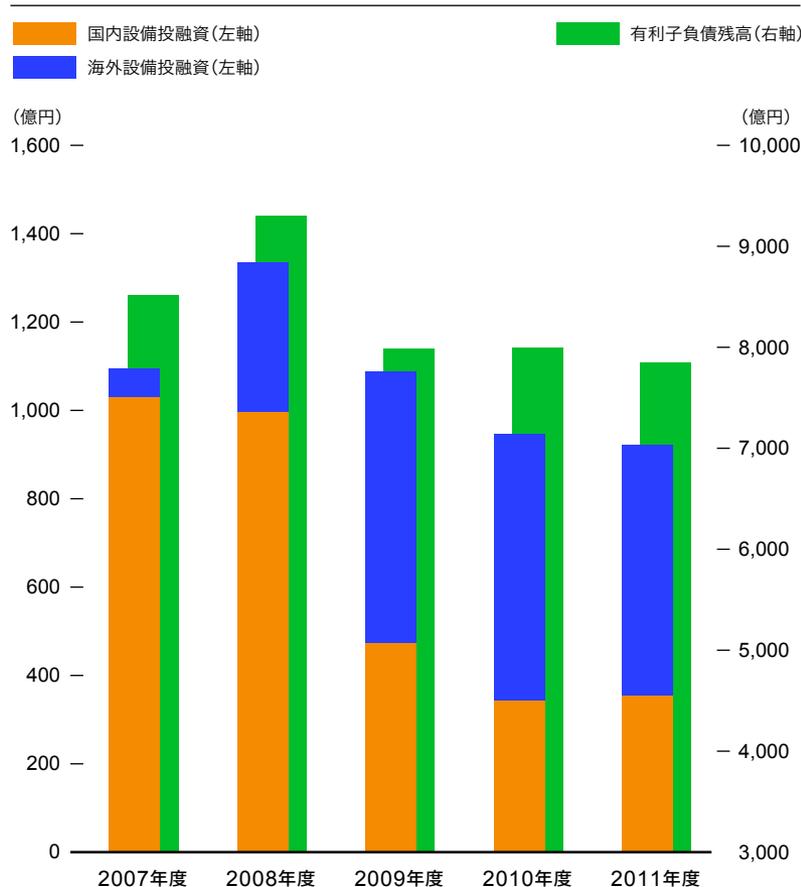
- 多量のゼオライトを不織布中に保持する事が可能
- ゼオライトの機能を最大限に発揮出来る不織布の製法

東北大学大学院工学研究科量子エネルギー工学専攻の三村均教授により効果確認済み  
日本原子力学会（2012年9月）、放射性廃棄物処理国際会議（2013年2月）にて発表予定  
汚染水の除染のほか、水を介在させた土壌や樹木の除染など、幅広い用途を想定



## 成長が見込まれる成長国・資源国での事業展開を加速

設備投融資実績と有利子負債残高推移



東南アジア	<p>M&amp;Aによる積極的な事業拡大</p> <p>2010年以降 パッケージング事業における4件のM&amp;A実施 (GSPP United Kotak S.Pack Harta)</p> <p>Oji Label (Thailand) 新規粘着ラミネーター稼働</p> <p>ベトナムにチュンタン社との植林・木材加工合併会社設立</p> <p>2012年夏 カンボジア新規植林事業着手</p> <p>2013年4月 ベトナム段ボール新工場営業開始予定</p> <p><b>2013年初期 カンボジア段ボール新工場営業開始予定</b></p> <p><a href="#">→詳細次頁参照</a></p>
インド	<p><b>段ボール事業展開のための現地法人設立</b></p> <p><a href="#">→詳細次頁参照</a></p>
中国	<p>王子製袋(青島)設立</p> <p>王子製紙国際貿易(上海)設立</p> <p>南通工場</p> <p>2013年 クラフトパルプ製造設備稼働(第1期プロジェクト完了)</p> <p>産業資材、機能材を含む全事業展開構想(第2期プロジェクト)</p> <p>2012年7月 王子包装(武漢)設立予定</p> <p>中国内陸部への進出</p>
ニュージーランド	<p>PANPACのBCTMP生産設備増強および総合林産事業の強化</p>
ブラジル	<p>イメージングメディア事業におけるM&amp;A実施(OPE)</p>

## 〈カンボジア段ボール新工場建設〉

2011年 実質GDP成長率 6.1% ※  
 当社グループのカンボジア国内の段ボールシェア 30%  
 既存拠点(Harta Cambodia)に増産余力なく  
 今後の需要増加への対応策が必要



### 南部の港湾都市シハヌークビルに新工場を建設予定

- 国内唯一の国際深水港であり、工業団地の開発が急速に進む  
→工業団地の開発に伴い段ボール需要増
- 主要顧客である現地大手飲料メーカーからの増産要請
- 輸送効率の向上  
原紙輸入→加工→販売がシハヌークビルで完結

#### 新工場計画

予定地	シハヌークビル港 工業団地 (日系工業団地)
生産能力	貼合・・・67百万㎡/年 製函・・・40百万㎡/年
総投資額	12億円
営業開始	2013年初



## 〈インド段ボール市場参入〉

2011年 実質GDP成長率 7.2% ※  
 段ボール需要の一層の増加と  
 品質要求の高度化が予想されるインドにおいて  
 段ボール事業の開始を検討



### 工場建設に適した用地の取得を早急に進めるため 現地子会社を設立予定（2012年6月） 新工場建設はラジャスタン州ニムラナ工業団地を想定

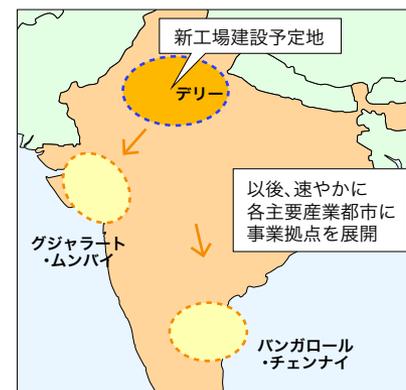
#### 【ニムラナ工業団地】

- デリーの南西120km 日系企業が数多く進出(約35社)
- 特に第三期開発開発分は日系企業専用
- NEDO主導による、太陽光発電とディーゼル発電を  
連携した電力安定供給の技術実証事業を実施予定

### 品質・サービスを武器に、日系企業以外の新たな顧客も開拓

#### 新工場計画

予定地	ニムラナ工業団地
生産能力	貼合・・・48百万㎡/年 製函・・・25百万㎡/年
総投資額	18億円
営業開始	2013年度下期

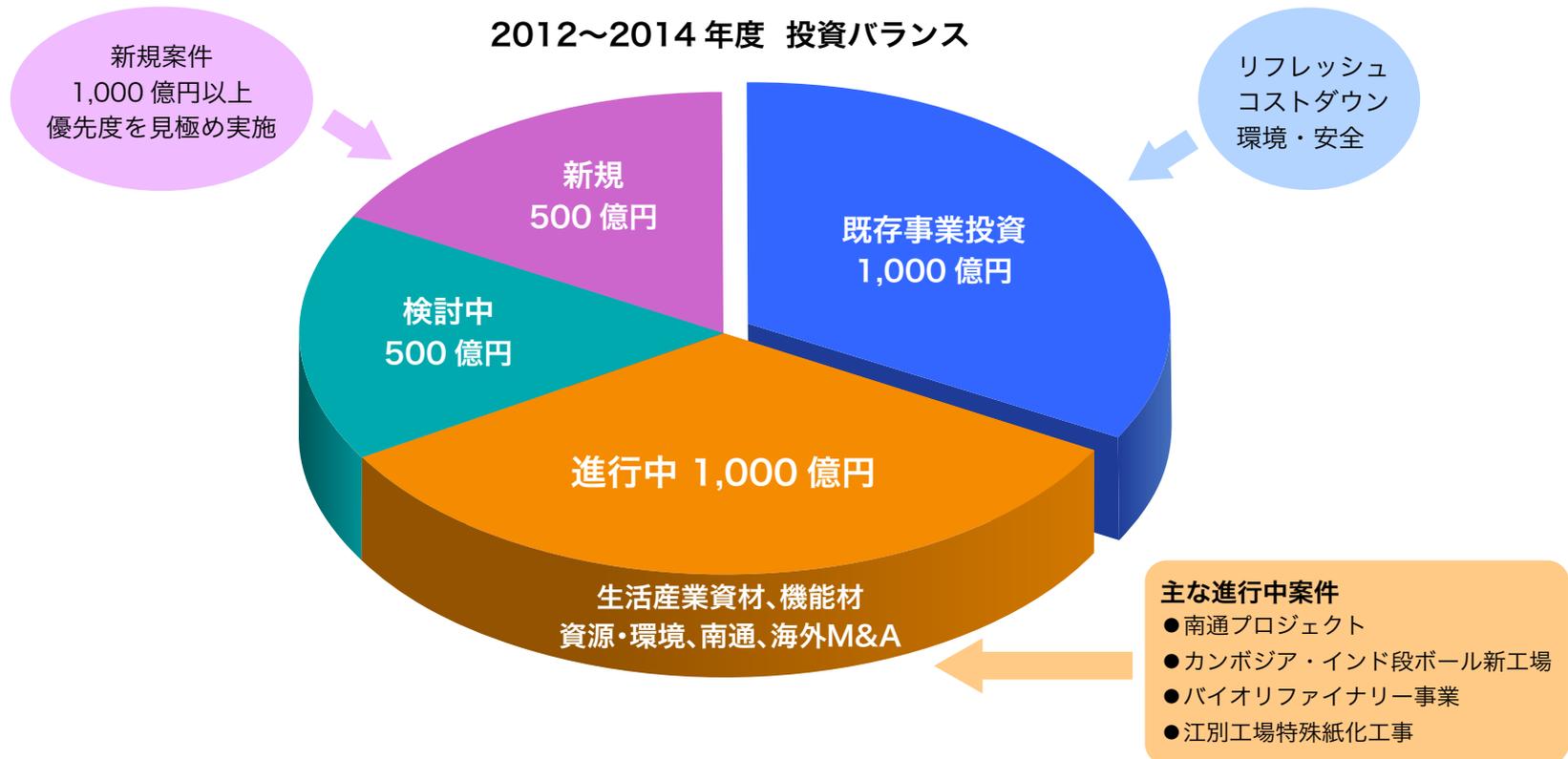


国内既存事業への投資は極力圧縮し、重点分野に投資を集中することで、  
事業構造転換を完遂させる

前提

・有利子負債残高	当面 8,000 億円維持
・EBITDA	11 年度実績並み

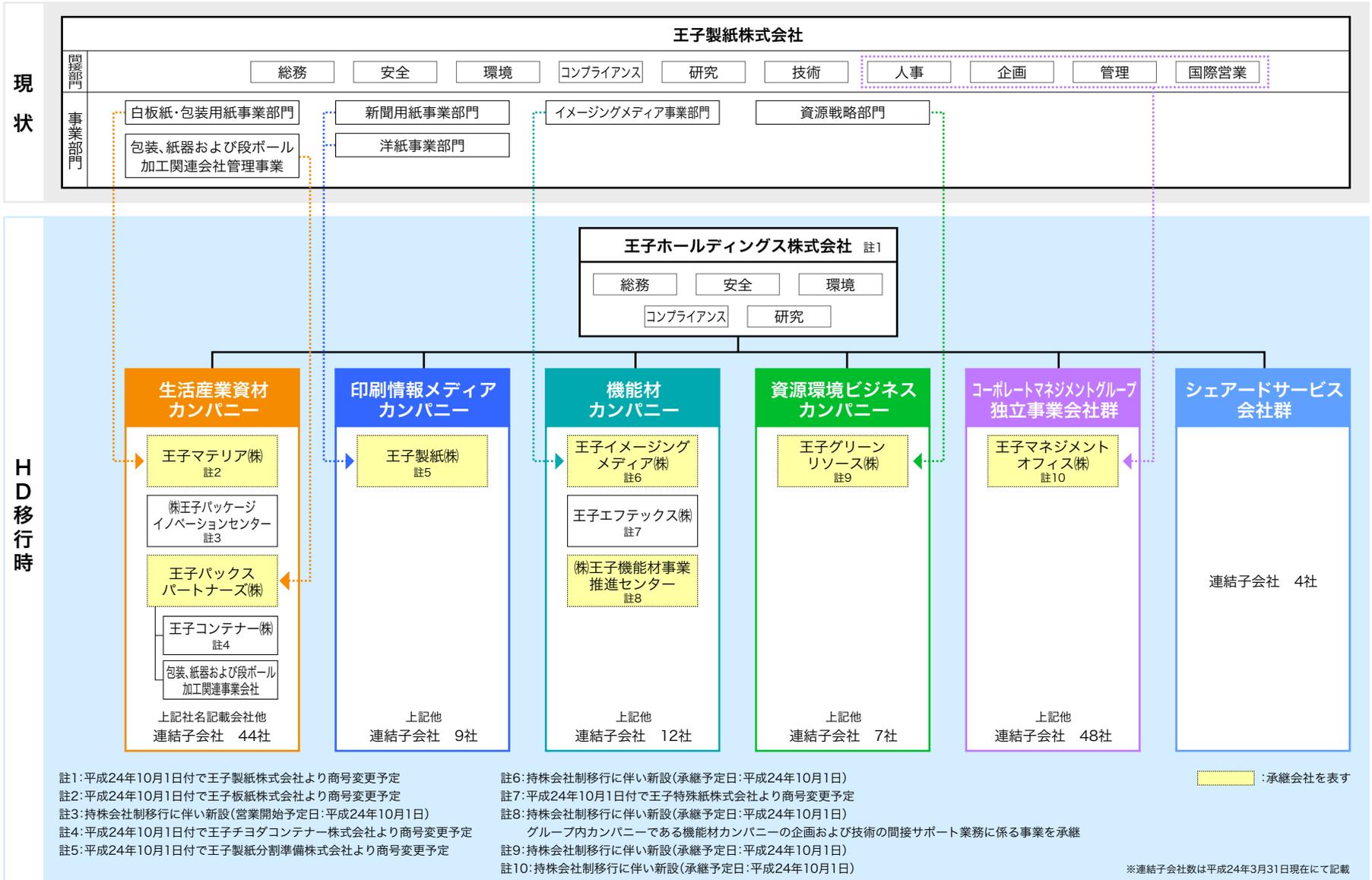
## 2012~2014 年度 投資バランス



# 持株会社制移行に伴う組織再編図



OJI PAPER





本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に掲載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに準拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。